

Kunzo Minami Memorial Museum Collection

自然 を映す



南薫造《牡丹》（部分）1948年

会期延長!!

2019年 12/19 (木) ⇒ **2020年 9/22** (火・祝)

休館日：火曜日 開館時間：9:00-16:30

観覧料：一般200(160)円、高校生120(100)円、小・中学生80(60)円

* () 内は20名以上の団体料金。呉市に在住、または通学する小・中・高校生は無料。

広島中央地域連携中枢都市圏（竹原市・東広島市・江田島市・熊野町・海田町・坂町・大崎上島町）の小・中・高校生は無料。

呉市いきいきパスをお持ちの方、障害者手帳等をお持ちの方は無料（要証明書）

南薫造記念館

KUNZO MINAMI MEMORIAL MUSEUM

〒737-2519 呉市安浦町内海南2丁目13-10 TEL(0823)84-6421

自然を映す

Kunzo Minami Memorial Museum Collection



1



2

南薫造は花を愛し、深い関心を寄せていました。花をテーマにした静物画なども残していますが、自ら花を育てるその園芸熱も相当なものでした。戦前、南が住んでいた東京・百人町の自宅兼アトリエには、信州から白樺を移して植え、ばらやライラック、ランの花を育て、朝顔のアーチをしつらえていたそうです。郷里の広島・安浦町に疎開した後も、庭にぼたんや菖蒲の花を植え、丹精込めて育てました。

本展では、そんな南が愛した花の絵を中心に、植物や風景を描いた作品をご紹介します。自然に寄せる南の美意識やあたたかな眼差しとともに、表情豊かに咲き誇る花々をお楽しみ下さい。



3



4

1. 《庭の一隅》昭和初期頃
2. 《読書》1923年
3. 《花》制作年不詳
4. 《須波風景》1946年

小企画①

インド旅行～南薫造が見た風景

10月26日(月)まで

南薫造があこがれの地・印度で見た風景や、現地の人々を描いた水彩画やデッサン、関連資料を展示します。

小企画②

絵はがきで見る南薫造の画業-光風会展編

8月24日(月)まで

南薫造が出品した光風会展の代表作を、絵はがきでたどります。

小企画③

画家の自筆原稿を読む①-『若き日の肖像』ほか

7月27日(月)まで

南薫造が『アサヒグラフ』に寄稿した「若き日の肖像」の自筆原稿などを展示します。

【次回予告】

没後70年 南薫造展 I 「瀬戸内の魅力」

10月3日(土)～2021年1月17日(日)

2020年は、南薫造の没後70年という節目にあたります。南薫造記念館では3期にわたって没後70年記念展を開催します。第1期のテーマは「瀬戸内」。南が愛した瀬戸内の魅力に迫ります。



南薫造

南薫造(1883-1950)は、医者の長男として広島県賀茂郡内海町(現・呉市安浦町)に生まれる。東京美術学校(現・東京藝術大学)に学び、卒業後はイギリスに留学。帰国後は文展、帝展などで入選を重ね、優雅で温かな画風が高く評価され、帝国芸術院会員や帝室技芸員として活躍した。母校・東京美術学校では教授として後進の指導に当たり、多くの芸術家との交流を通じて日本洋画の発展に貢献した。戦時中から郷里・安浦に居を移し、戦後は広島の美術の発展に尽力しながら、瀬戸内の風景を多く描いた。



【アクセス】

■車利用の場合

呉市内から国道185号線を竹原方面へ。クアライン呉ICより約60分。敷地内の無料駐車場をご利用下さい。

■JR利用の場合

JR呉線安浦駅下車、徒歩約900m。

南薫造記念館
KUNZO MINAMI MEMORIAL MUSEUM

〒737-2519 呉市安浦町内海南2丁目13-10 TEL(0823)84-6421